

産業用の検査装置を開発する 小さくても存在価値のある会社

同社は、スマートフォンや照明に使用されるLEDデバイス等の検査を行う産業用自動検査装置を主な事業としている。この分野の先駆者として、エレクトロニクス、メカトロニクス、IT技術により、顧客の要望に応える「超高速」「高精度」な検査装置を開発する技術者集団である。また、電子回路設計、ソフトウェア設計あるいは機械設計などの技術ノウハウを活かした委託開発も行っている。例えば、さまざまな条件下でも消火できる「自動消火ロボット」や「南極氷床掘削制御装置」などである。

- 所在地 山梨県南アルプス市上八田140-41
- 設立 1986年
- 電話/FAX 055-280-5252/055-280-5255
- 資本金 6,500万円
- URL <http://www.oh-tec.com/>
- 従業員数 19人
- 代表者 代表取締役社長 田倉 和男



生産性向上

顧客要望から生まれた世界最速・高性能LED検査装置の開発

日本は、少子高齢化が進行し、働き手不足が深刻な課題になっている。同社では、エレクトロニクス、メカトロニクス、画像処理などのIT技術を駆使することで、高度な検査作業を人間が行うのではなく、超高速で大量に処理するLED自動検査装置を開発した。主力のLED分類テストでは、世界最速、シェアNo.1となっている。社内では「不可能と云わないチャレンジ精神」や「顧客の利益優先」をモットーに、「高速・性格・ミスのない」検査装置の更なる進化を目指し、信頼を築きブランド力を高めている。



世界最速・高性能LED検査装置

最新の生産管理システムの導入と情報共有による業務効率化

同社では、最新の生産管理システム「TECHS-S」を導入し、引き合い、見積もり作成、受注予測、部材発注、納期管理等の各生産工程を管理している。これにより、受注予測から部材の在庫管理を行うことで、過剰在庫の抑制と必要部品の欠品を防止している。また、最適な納期管理を効率よく行い生産性の向上を図っている。更に、新規設計の社内レビュー時に、使用実績のある部品や在庫部品などを優先的に選択、使用できるように、データの社内共有化を実施している。この取組は、地域企業の先導的役割も担っている。



電子部品の管理棚

地元若手人材の積極的採用と社内における人材育成

同社では、地元の大学・短大・専門学校から若手人材を積極的に継続して採用している。採用後は、社内教育をはじめ人材育成に力を入れている。そのための一環として、今までの開発技術を共有の技術になるよう、ファイルに整理し常時、参照できるようにしている。また、社内に若手社員による「新事業・新商品開発委員会」を設け、社員個々に企画立案から試作を行い、自己研鑽できる場を作っている。この取組の中から、新商品の開発につながった例も出てきている。



新商品に関する社内プレゼンの様子

ものづくり